



市議会だより

第155号

平成25年2月1日

住みたくなるまち 鳥栖

編集発行 鳥栖市議会
鳥栖市宿町1118
電話85-3525

いよいよ始動



新鳥栖駅前のサガハイマツトは
今年5月開設予定です

12
月
定
例
市
議
会

補正予算を原案可決

請願1件を採択、1件を趣旨採択

平成23年度決算を認定

一般質問...4~8 17人が質問

- ◆主な事業と予算額.....③
- ◆常任委員会審査報告.....③
- ◆議決結果.....⑨
- ◆陳情.....⑩
- ◆議会日誌・編集後記.....⑩

12月定例会

12月定例会は12月3日から20日まで開かれ、市長提出議案34件、議員提出議案4件、請願2件の審議のほか17人の議員が一般質問を行いました。

補正予算、条例改正などを原案可決

請願については、1件を採択、1件を趣旨採択

補正予算案など 提案される

今定例会では、平成24年度の補正予算や条例改正案など、また、決算特別委員会と水道事業決算特別委員会で継続審査となっていた平成23年度の決算、さらには2件の請願の審議を行いました。

(特別委員会での決算の審査については、8ページをご覧ください)

条例改正案を 審議

本会議では、条例の一部改正案に関し、組織機構の見直し、子どもの医療費の助成拡大のねらいなどについての質疑がありました。また、財産(土地)の取得に関しては、学校給食センター化決定のプロセスなどについての質疑がありました。

組織機構の見直しについては、「今後見込まれる子どもや高齢者などに対する行政ニーズの増加や複雑化に、より適切に対応するため」、また、「子どもの医療費については、「子育て世帯の経済的負担の軽減はもちろん、子育て世帯の転入、出生数の増加にもつながると考えている」との答弁がありました。また、学校給食のセンター化については、「本市の学校給食を取り巻く環境から、現状及び課題、今後の方向性を包括的に網羅した鳥栖市学校給食基本理念・基本計画(初稿案)を資料として判断を行ってきた」との答弁がありました。

請願2件を審議

本会議での採決の結果は、9ページをご覧ください。(なお今号から、議員個人の表決結果を掲載していません)

先の9月定例会で閉会中の継続審査となっていた「鳥栖市議会の本会議場に

に国旗の掲揚を求める請願書」は、「本会議場への国旗掲揚請願審査特別委員会」で審査が行われ、採決の結果、賛成多数で採択されました。

本会議では、反対討論がありました。また、賛成多数で採択されました。

また、今定例会には、「老人福祉センター風呂の存続を求める請願」が提出されました。これは、老人福祉センター施設内の風呂設備などを全地区で今までもおり続けるよう求めるものです。この請願は文教厚生常任委員会に付託され、審査が行われました。

委員会では全会一致で趣旨採択され、本会議でも全会一致で趣旨採択されました。

市議会関係条例を 一部改正

今定例会では、地方自治法の一部改正に伴い、市議会基本条例、市議会会議規則、市議会委員会条例、市

議会運営委員会を 選任

議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正の議案が議会運営委員会発議で提出され、すべて全会一致で原案のとおり可決されました。

議会運営委員会の選任が行われ、新しい委員は次のとおりとなりました。

- ◎Ⅱ委員長、○Ⅱ副委員長、カッコ内は所属党派
- ◎中村圭一(自民クラブ)
- 国松敏昭(公明党)
- 成富牧男(日本共産党議員団)
- 久保山日出男(自民クラブ)
- 田中 稔(新風クラブ)
- 中川原豊志(政友会)
- 江副康成(天梭会)

また、建設経済常任委員会の正副委員長の交代があり、新しく国松敏昭議員が委員長に、中村圭一議員が副委員長に選出されました。

平成24年度 一般会計補正予算

補正額 2億4,752万4千円
予算合計 232億7,251万7千円

【主な歳入】

市 税	1億5,140万円
国・県支出金	6,307万3千円
市 債	5,010万円

補正予算(今回)
2億4,752万4千円

補正予算(前回まで)
9億6,978万5千円

当初予算
220億5,520万8千円

【主な事業と予算額】

■障害者自立支援医療費給付事業	369万3千円
■障害者自立支援給付費	4,510万2千円
■児童扶養手当	2,700万円
■私立保育所運営費負担金	5,586万円
■資源物回収広場移転工事費	96万7千円
市役所で実施している資源物回収を衛生処理場ストックヤードに移転するもの	
■土地改良施設維持管理事業	37万5千円
老朽化した水屋・蓮原揚水機場の改修経費を助成するもの	
■河内防災ダム維持管理経費	100万6千円
河内防災ダムのオイルフェンス等を取り替えるもの	
■道路舗装事業	200万円
■今泉・田代大官町線道路改良工事	180万円
■九州新幹線鹿児島ルート建設事業負担金	160万円
■自主防災組織補助金	8万円
■学校給食センター建設事業	3,800万円
学校給食センター建設に伴い、道路の改良を行うもの	
■鳥栖西中学校プール改修事業	6,700万円

常任委員会審査報告概要

総務

次のような項目などについて質疑がありました。
総務課 自主防災組織の補助の対象器材

と活動の状況や実績

財政課 たばこの売上本数、減債基金の繰入金と積立金の減額理由

契約管財課 建物総合損害

共済災害共済金の損害原因

市民協働推進課 まちづくり推進センターの看板の箇所数・金額・発注方法

国保年金課 後期高齢者医療費の過去の経緯と今後の推移、後期高齢者医療費抑制のための取り組み、医療費適正化に係る医師会との連携

税務課 法人市民税還付金の内訳

建設経済

次のような項目などについて質疑、要望がありました。
商工振興課 観光大使との観光戦略とP

環境対策課 市役所資源物回収広場移転の周知方法、

R

資源物回収指導業務の契約方法と今後の契約の考え方、徒歩や自転車資源物回収広場を利用されていた方への対応、移転後の資源物分別品目

農林課 河内防災ダム施設のこれまでの経過と現状や利活用、ダム管理委託金の内容

建設課 市道酒井西・真木線道路舗装の工事費用、市

文教厚生

次のような項目などについて質疑、要望がありました。
社会福祉課 母子生活支援施設入所措置費に關連して施設の内容と入所措置費負担金、健康診査委託料に關連して受診対象者、人工透析患者数の推移、18歳以上と18歳未満の身体障害者手帳所持者数、生活保護受給者への就労支援の効果と自立支援のあり方、福祉部門（特に高齢者福祉、障害者福祉担当職員）の超過勤務を含めた事務量、福祉担当職員の福祉関連法の研鑽状況と現業員

R

道今泉・田代大官町線改良工事に關し、街路樹の撤去・歩道の整備基準・歩道の安全性・街路樹の再利用・実施時期・施工方法・歩道通行許可基準

都市整備課 新鳥栖駅前広場に設置するフラワーポット、朝日山公園東屋の出入原因と保険の加入、県営事業街路調査負担金の内容

である自覚

こども育成課 私立保育所特別保育事業の概要と利用者

者の今後の見通し

教育委員会事務局 放課後児童クラブ支援員の職務中の事故の状況と保険、西中学校プールの設置年月日と耐用年数、交通遺児の対象世帯数、放射線測定器の内容と測定数値を活用した教育の方向性、各学校に野積みしている伐採樹木等の処理、児童数増に伴う教室確保の見通し、特別支援学級の動向、西中学校以外のプールの現状

R

一般質問

17人の議員が質問を行いました。
(発言順に掲載しています)

通学路の

緊急合同点検について

質問 国松敏昭議員

本年の6月8・13・20・27日、7月13・24・26日と8月18日に行われた小学校・PTA・地区交対協・鳥栖警察署・教育委員会そして市役所の建設課による通学路の緊急合同点検について、この結果をどのようにとらえ対応されてきたのか、今後どのように生かしていくのか。

組織的な対応で交通安全確保に努めたい

答弁 今回の緊急合同点検で、危険箇所の整理、危



路側がカラフル舗装された通学路(儀徳町)

険箇所について、警察、道路管理者、教育委員会が共通認識を持つことができ、即時対応ができたことなど、さまざまな面で成果を挙げることができた。
今後今年度行った合同点検の方法を継続し、危険箇所の共通認識・危機意識を持ち、その対策について協議し、組織的な対応をすることによって、児童生徒の交通安全の確保に努めたい。

その他質問 ◆今後のまちづくりの中で、道路行政をどのように進めるのか

資源物回収場の

移転について

質問 尼寺省悟議員

市役所広場の資源物回収場を閉鎖して、真木町衛生処理場に移転することだが、その理由は。また市役所回収場と各町の資源物回収の状況。さらに真木町衛生処理場への移転は、回収量の減少をもたらし、「ゴミ減量、資源循環型社会の実現」という市の方針に反するのでは。利用者の混雑の緩和が理由ならば、市役所回収場は維持して、真木町衛生処理場と並立にすべきでは

市役所での資源物回収の継続は考えていない

答弁 市役所内での資源物回収を14年間実施したことで、市民の皆さまへの資源物回収の啓発は相当な効果を上げ、当初の目的は達成されたと認識している。その意味で、市役所で継続して資源物回収を実施することは考えていない。

今後、市民の皆さまが本来の市役所の目的に沿った利用をしていただけるよう考えたい。

その他質問 ◆全日本同和会への補助のあり方



4月に移転する資源物回収広場

学校における

動物飼育について

質問 光安一磨議員

動物との関わりの中から、人としての優しさ等を育てる療育効果もある。学校での動物飼育からくる教育効果も期待される。事の善悪の判断を失し、正しい心が失われている思いがする。
動物と接することにより良い心の醸成となると思うが、動物飼育の環境の充実を。

衛生面等に十分配慮が必要である

答弁 現在、市内8小学校のうち、7小学校で動物



田代小学校のうさぎ小屋

を飼育している。多くの学校では、主にウサギを飼育しており、ニワトリやカメを飼っているところもある。
子どもたちにとって、動物と触れ合う機会を持つことは、豊かな心を育む上で大変有意義であると考えている。しかしながら、鳥インフルエンザをはじめ、さまざまな感染症の原因ともなっており、飼育の仕方、子どもとの触れ合いのさせ方については、衛生面等に十分配慮が必要であることから、今後も動物飼育について効果的な活用ができるよう配慮したい。

その他質問 ◆地域包括支援センターの機能

福祉現場の基本的在り方について

質問 佐藤忠克議員

橋本市長は福祉八法に携わる福祉行政の推進役であり、末端行政を担っておられる職員とクライアントとの関係で最も必要であり且つ求められる、法の理解者としての役割及び信頼関係に乖離があると思われる現状をどのように認識し、改善を図ろうと考えておられるのか。

議員のご指摘を真摯に受け止めたい

【答弁】 福祉行政を担う職員のあるべき姿として、温かい心と思いやりを持ち、市民の目線に立ち、ニーズを的確にとらえ対応し、福祉行政のプロとして専門的知識・技能に自負心と探究心を持って業務にあたる基本姿勢は今も昔も変わらな

いと考える。職員と市民の間にあるべき信頼関係が乖離しているのではないかという議員のご指摘については、これを真摯に受け止め、今後も鳥栖市職員として恥ずかしくない人材の育成になお一層

努めたい。その他質問◆新教育長に問う

鳥栖・三養基地域ビジョンについて

質問 藤田昌隆議員

このビジョンは各首長の合意の上で作成されたが、内容としては連携強化であり、時間軸10年〜20年での地域のあり方でなく、道州制、権限移譲後の自治体体制など見据えて早急に合併に向けて動き出すべきでは。また市長の残任期間2年3カ月でどこまで進めるのか。

市民との約束の実現に向けて努力したい

【答弁】 私は、平成19年の市長選挙において、合併を推進していく旨、マニフェストに掲げ、2期目にも、「10万人都市の実現で活力のあるまちを創る」「まずは基山町との合併を実現します。続いて三養基全域の合併を目指します」と掲げた。

先日、「鳥栖・三養基地域ビジョン」を公表し、そ

の中で、この地域の将来の在り方検討委員会を来年度の早い段階で1市3町の副市長、副町長級職員で設置することとしている。今後はこの協議の状況を見守る必要があるが、市民との約束の実現に向け、今後とも努力したい。

新鳥栖駅前の整備について

質問 中村圭一議員

鳥栖の新しい顔としての新鳥栖駅前の整備については、「おもてなしや気配りの気持ち」が不可欠であるとの認識はお持ちであるとのこと。しかし、現在考えておられる整備が、駅前広場への「フラワーポットの設置」だけでは、あまりにもお粗末。駅前には立派な公園用地もある。中長期的な公園整備もしっかりとすすめていくべきでは。

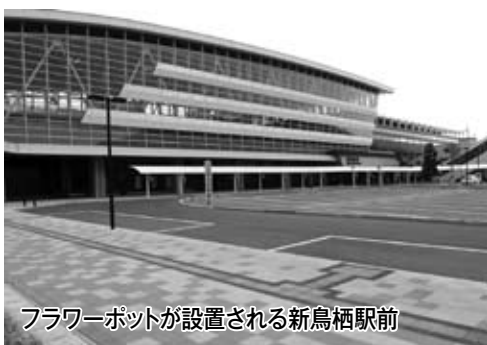
公園整備は必要なものと考えている

【答弁】 地元の方も公園整

備には関心が高く、2カ所の公園整備計画を示した上で整備する必要があると考えており、来年度には公園の設計図をお示しできると考えている。また、周辺の土地利用も進み、利用者も増えて公園の需要も多くなると考えており、周辺の方の憩いの場として整備するとともに、鳥栖市のおもてなしの姿勢を示すためにも公園整備は必要なものと考えている。

これまで、地元や各種団体からさまざまなご提言、ご意見をいただいております。内容を十分精査し、今後の設計に反映できる部分は参考としたい。

その他質問◆旧旭小学校体育館



フラワーポットが設置される新鳥栖駅前

人権問題への取り組みは

質問 柴藤泰輔議員

現在の取り組み状況がどうなっているのか。また国の法律には、地方公共団体の責務として、拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題に関して啓発を図るよう努めるとしているが、その取り組みは。また文科省が学校現場へ周知協力を行っているアニメ「めぐるみ」の上映会の開催状況は。

「めぐるみ」の視聴は、1校で実施されている

【答弁】 北朝鮮による拉致被害者の方に関する啓発活動について、本市主催では行っていない。平成24年7月に佐賀県教育庁より「北朝鮮当局による拉致問題等に関する映像作品等の活用について」の依頼があり、それを受けて、9月の校長研修会で市内の小中学校長に周知した。

今年度の小中学校でのアニメ「めぐるみ」の視聴については、小学校1校で実施されている。今後再び呼びかけを行いたい。

鳥栖市地域 振興財団について

質問 酒井靖夫議員

鳥栖市地域振興財団は、平成8年に設立、平成18年度より指定管理者制度が導入され、平成24年度末で解散するが、財団が指定管理者制度になじまなかったのはなぜか。また、今回解散する財団の引き継ぎ財産はどのようなになっているのか。

■安定的で継続性のあるサービス提供を実現すべき

【答弁】 指定管理者の公募により管理主体が度々変更となることで、施設の管理運営に支障が出る懸念もあり、公の施設は安定的で継続性のあるサービス提供を実現すべきという前提から、直営のほうが好ましいと判断した。

現時点で財団が保有している基本財産や剰余金で確定している金額は、鳥栖市の出損金が基となっている基本財産が1億円、これまでに財団が積み上げてきた剰余金が約4400万円、合計約1億4400万円と聞いている。

動物の愛護と 管理について

質問 古賀和仁議員

動物の愛護及び管理についての条例制定を検討していくとのことだが、取り組みの現状について尋ねる。調査研究された他市の取り組み、解決しなければならぬ課題、制定へのスケジュールと他の制度との整合性についてそれぞれ尋ねる。

■課題は、野良猫への餌やり行為をどう考えるかだ

【答弁】 県内で動物愛護及び管理に関する条例を制定しているのは1市で、猫等の避妊・去勢手術費の助成を導入しているのは3市だ。

条例制定の課題は、野良猫への餌やり行為をどう考えるかだ。この条例における餌い主の定義は動物の所有者だけでなく、餌やりをしている人も飼い主とみなすよう規定されている自治体が多く、動物の所有者と同様の義務や責任が発生することになり、糞などの処理も適正に行っていたらいいことになる。

また他市の条例を見ても、

犬取締条例の内容について規定されていることが多い。



看板はあってもフンは絶えず

鳥栖・三養基 地域ビジョンについて

質問 下田 寛議員

鳥栖・三養基地域ビジョンが策定され、1市3町の連携がいよいよ深まってくる。市長の率直な考え方や、公約である「合併」について、「住民意識の醸成と確認方法」について、今後どのような方針で進められるのか尋ねる。

■議論の進捗状況を見ながら鋭意努力したい

【答弁】 私はこの地域の将来を見据えた場合、合併は

必要であると考えている。住民意識の醸成と確認の方法については、ビジョン概要版の市内全戸配布を年内に予定している。この概要版の配布により、市民の皆さまにも現在の鳥栖・三養基地区がおかれている状況を認識していただき、その上で何らかのアクションが期待できるのではないかと考えている。

今後、将来の在り方検討委員会で、この地域の将来のあり姿が議論されると思うが、市民の皆さまへのお知らせや意向の確認など、その手法等も含め、議論の進捗状況を見ながら、今後も鋭意努力したい。

その他質問 ◆小学校の環境

新年度の重要課題 施策と予算編成は

質問 中村直人議員

社会的に弱い立場にある人の思いに立った行政運営・予算の編成が大事である。将来に希望が持てない社会をつくってはならない。将来に希望が持てる都市像の実現にむけた施策を

期待するが、どのような施策・予算編成を新年度はやるつもりになっているのかお聞きしたい。

■行財政運営は市民ニーズの具現化であるべき

【答弁】 平成25年度の予算編成は、当初予算に対する考え方を示した予算編成方針及び平成23年度からスタートした第6次鳥栖市総合計画を基本理念とし、事業全般にわたり効果的、効率的な施策の徹底を図ることとしている。

本市にとって必要と考えられる新規、既存事業について、事業内容や必要性を検証し、各事業の課題などの確に把握し、予算編成を行いたい。

基本的には、市の行財政運営は市民ニーズの具現化であるべきと考えており、「まちづくりの主役は市民です」を政策の基本とし、市民が「鳥栖ってこんなに素晴らしいまちである」と胸を張って言えるような、「住みたくなるまち鳥栖」を目指し、真摯に行財政運営を行っていくべきだと認識している。

市庁舎 改修か改築か

質問 太田幸一議員

市庁舎の劣化・長寿命化及び耐震対策について、今日までの取り組みとともに、「改修か」「改築か」を選択する時期が来ると考えますが、今後の具体的取り組みについて問う。

■施設改修等全体計画の中で慎重に検討したい

答弁 平成11年度に耐震診断と外壁調査、平成12年度に外壁爆裂補修工事、平成15年度は庁舎南側壁面防炎フェンス設置工事を実施、平成18年度には、関係各課担当職員による庁舎建設等検討委員会で、庁舎の現状、課題、今後の経費などについて検討した。

平成23年度に実施した市庁舎耐震化基本構想策定業務では、耐震補強工事や改築工事のそれぞれのメリット、デメリットの整理、工法による比較、概算費用などを検討した。

いずれにしても、多額の財源を伴うことから、中長期の本市の財政における健全性確保に配慮し、他の公

共施設の緊急性や重要性を総合的に勘案し、施設改修等全体計画の中で慎重に検討したい。



老朽化が進む市庁舎

学校給食について

質問 成富牧男議員

①自校方式の存続は、敷地面積の確保ができず困難と言いますが、その検討は、いつどの部署でしたのか。検討資料はあるのか。②評価委員会の提言書は「自校方式の選択肢は妥当でない」と結論づけたが、それは、いつの時点の何をもとにした結論なのか。

■検討資料として公開できるものはない

答弁 ①学校給食基本理念・基本計画（初稿）の策定にあたり、教育委員会と総合政策課で検討した。検討資料として公開できるものはない。

②評価委員の皆さまに、約3カ月の短期間に、現在の自校方式の給食室の視察を含め真摯なご議論をいただいた。給食室の現状を把握いただいた上で、第3回の会議において、施設の抜本的な改修が必要であり、現在の学校敷地では給食室を改修する面積を確保することが困難なことから、センター化が妥当であることをご議論いただき、平成23年9月に最終的な提言をいただいた。

中学校の通学路 安全対策は

質問 中川原豊志議員

小学校の通学路の安全については、学校やPTA、市や県、警察や交防協等の合同での点検が行われ、危険箇所のチェックと改善策の検討が行われて効果があったけれども、中学校の

通学路について危険箇所の確認や安全対策はどのようにしてあるのか。合同点検の計画や交通マナーの向上のための教室は実施されているのか。

■毎年度初めに、交通教室を実施している

答弁 通学時の安全確保について、まずは安全マップに挙げている箇所の周知を生徒へ徹底している。また安全指導担当教員より機会あるごとに指導し、交通対策協議会や地域の方のご協力での安全を確保している。

各学校において、毎年度初めに、交通教室を実施し、警察からの講話、ビデオ映写など、安全担当からの交通安全指導を行っている。自転車点検も実施しており、自転車利用のヘルメット着用も義務付けている。
その他質問 ◆新産業集積エリア整備事業の進捗状況

生活保護の 実態は

質問 田中 稔議員

経済情勢に鑑み、鳥栖市の生活保護の実態について、

国・県との比較、就労支援、保護認定の事由別構成について尋ねる。

■初期段階の支援で就労による自立を目指したい

答弁 平成23年度の月平均の被保護世帯数、被保護人員、保護率は、国では約149万8千世帯、約206万7千人、16.2パーミル。佐賀県では、5809世帯、7668人、9.06パーミル。鳥栖市では369世帯、507人、7.31パーミルとなっている。増加の要因として、非正規雇用の増大、失業者の増加などが考えられる。本市としても、本年8月に開設された「ジヨブナビ鳥栖」との連携を密にし、初期の段階での支援を実施することにより、就労による自立を目指したい。

その他質問 ◆市役所前資源物回収広場の移転にあたり、資源再利用・脱二酸化炭素社会の動きに逆行しないよう十分な配慮を求めたい

コンプライアンスとガバナンスについて

松隈清之議員

平成22年3月に監査からの指摘が常態化していることを指摘し、改善を求めたが、依然として不適切な事務に対する指摘は後を絶たない。職員のコンプライアンスの意識と組織を統治する能力の問題があるのではないか。また、改善されないのは監査の手法にも問題があるのではないか。執行部と監査委員の見解を求め

適切な事務処理とコンプライアンスを再度確認する

答弁 このことについては、大変重く受け止めるべきと認識し、今後とも職員個々の法令等の知識の向上を図り、事務マニュアル等の理解度を高め、法令等を遵守し適切な事務処理を行うということが重要で、また管理職による内容精査の厳正な実施が必要と考えている。

監査としては、平成23年度当初から、これまでの主な指摘事項、指摘の根拠となる法令、市の規定等をま

とめ、部課長会で報告するとともに、関係資料を各課室に提供するなど、注意喚起をしてきたところだ。
その他質問 ◆部課長の仕事宣言

給食室に対する期待と不安について

江副康成議員

学校給食センター化に伴う保護者説明会において様々な質問や意見が出された。その中でセンター化は工場で作るような場で賛同できないという声があり、心に残った。

そうした不安を解消するためには給食をつくる方々と給食を頂く子どもたちとの信頼関係、絆を大切にすることだと思う。そして、食と農との関係、給食で使われる食材生産者の顔をいつも身近な田畑で見ることができるといふ地産地消の強みなど、これを契機に地域社会で様々ないい面が引き出されることを強く期待する。
新たに教育行政を担われる教育長のご所見をお聞きしたい。

質の高い給食を提供したい

答弁 給食センター建設にあたっては、子どもたちの笑顔あふれ、これまで以上にのびのびと感じてもらえるような質の高い給食を提供し、皆さまに「給食センターをつくってよかった」と納得いただけるよう鋭意取り組みたい。

その他質問 ◆内なるグローバル化と地域社会・地方自治体のあり方

平成23年度決算を認定

平成23年度決算関係の議案は、閉会中に水道事業決算特別委員会、決算特別委員会を開き、審査を行いました。

今定例会ではその審査結果が報告され、採決を行いました。

一般会計決算に対しては反対討論が行われましたが、賛成多数で認定されました。また、国民健康保険特別会計決算、水道事業会計決算は賛成多数で認定さ

れました。
その他の決算は全会一致で認定されました。

水道事業決算特別委員会 審査報告概要

審査の中で、給配水管の耐用年数、老朽管などの水道施設の更新と費用対効果、職員研修の取り組み、給水原価抑制への取り組みと近隣自治体の状況、水道事業費の不用額、良質な水の提供への対応、給水戸数の推移と地下水利用状況の把握、企業債の金利と借り換え、自家発電に対する考え方、配水管布設工事後の路面復旧への対応と市民への周知、水道料金の不納欠損と未納対策、給配水管からの漏水原因と対応、水道施設整備計画と水安全計画、水道料金改定の経過、水道料金体系と今後の見直しに対する考え方、浄化センターのガス発電、家庭用ディスプレイと施設への影響、浄化センター増設工事委託と日本下水道事業団、日本下水道協会の目的と構成団体、受益者負担金の収納率、上下水道局の組

決算特別委員会 審査報告概要

審査の中で、職員研修、不用額、職員の時間外勤務、まちづくり協議会の方向性、安全安心なまちづくりの施策、子育て支援事業、保育所児童の受け入れ状況、保育所の運営、緊急通報システム事業、福祉ボランティアまちづくり事業、補助金に対する適切な運営、全日本同和会への補助金のあり方と是非、同和関係者である2人の社会教育指導員の雇用の正当性、予防接種と健康診断、コミュニティセンター用地購入、図書購入の状況等、給食業務委託料、橋梁長寿命化計画、地区交通対策協議会、公園や鳥栖駅東駐車場使用料と管理委託、塵芥収集運搬、老朽化の農業用水改良工事、企業立地奨励金と環境保全奨励金、観光協会の事業、美化活動奨励金についてなどの質疑がありました。

12月定例会の議決結果

◆全会一致（全員賛成）で可決されたもの

件名		議決結果
平成24年度補正予算	特別会計（国民健康保険、農業集落排水、新鳥栖駅西土地区画整理、産業団地造成）、水道事業会計、下水道事業会計	原案可決
平成23年度決算	特別会計（後期高齢者医療、農業集落排水、鳥栖駅東土地区画整理、新鳥栖駅西土地区画整理、産業団地造成）、水道事業剰余金処分、下水道事業会計	認定
市長提出	部設置条例の一部改正〔組織機構の見直しに伴うもの〕	原案可決
	まちづくり推進センター条例の一部改正〔公民館と老人福祉センターを廃止し、まちづくり推進センターの機能を拡充するもの〕	
	子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正〔小学生と中学生の医療費の助成方法を見直すもの〕	
	老人福祉センター設置条例の一部改正〔老人福祉センターの一部を廃止するもの〕	
	廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正〔廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正に伴うもの〕	
	都市公園条例の一部改正〔都市公園法等の一部改正に伴うもの〕	
	市営住宅条例の一部改正〔公営住宅法等の一部改正に伴うもの〕	
	空き家等の適正管理に関する条例〔空き家等の管理の適正化を図るため、所有者等の責務等を定めるもの〕	
	防災会議条例及び災害対策本部条例の一部改正〔災害対策基本法の一部改正に伴うもの〕	
	水道事業給水条例の一部改正〔水道法の一部改正に伴うもの〕	
	下水道条例の一部改正〔下水道法の一部改正に伴うもの〕	
	条例を廃止する条例の一部改正〔市コミュニティセンター条例、市公民館設置条例、市公民館施設使用料条例を廃止するもの〕	
	佐賀県後期高齢者医療広域連合規約の変更〔広域連合規約の変更に関する協議のため〕	
	固定資産評価審査委員会委員の選任〔井上保徳氏（今泉町）〕	
人権擁護委員候補者の推薦〔松本勇氏（古野町）〕	異議なし	
専決処分事項の承認〔一般会計補正予算〕	承認	
請願	老人福祉センター風呂の存続を求める請願	趣旨採択
議員提出	市議会基本条例の一部改正〔地方自治法の一部改正に伴うもの〕	原案可決
	市議会会議規則の一部改正〔地方自治法の一部改正に伴うもの〕	
	市議会委員会条例の一部改正〔地方自治法の一部改正に伴うもの〕	
	市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正〔地方自治法の一部改正に伴うもの〕	
	議会運営委員会の閉会中の継続審査の件	継続審査
議事人事	議会運営委員の選任（◎委員長、○副委員長） 〔◎中村圭一、○国松敏昭、成富牧男、久保山日出男、田中 稔、中川原豊志、江副康成〕	選任

◆反対や棄権があったもの

件名	議員名																議決結果						
	田中稔	藤田昌隆	下田寛	成富牧男	久保山日出男	中川原豊志	光安一磨	柴藤泰輔	江副康成	中村圭一	内川隆則	中村直人	太田幸一	国松敏昭	尼寺省悟	佐藤忠克		小石弘和	古賀和仁	松隈清之	森山林	酒井靖夫	
市長提出	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
請願	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

○賛成、●反対、一棄権 ※議長（齊藤正治）は表決には参加しません

議会日誌

－10月－

- 1日 建設経済常任委員会
- 5日 市議会だより編集委員会
- 9日 議会改革検討会
- 17日 全員協議会
- 18日 建設経済常任委員会
- 22日～24日 水道事業決算特別委員会
- 25日 九州市議会議長会理事会（宮崎市）
本会議場への国旗掲揚請願審査特別委員会
- 29日～11月1日 決算特別委員会

－11月－

- 2日 本会議場への国旗掲揚請願審査特別委員会
- 5日 議会改革検討会
- 8日～9日 全国市議会議長会評議員会（東京都）
- 12日～14日 総務常任委員会行政視察
（蒲郡市、尾張旭市、佐久市）
- 14日 建設経済常任委員会
- 15日 本会議場への国旗掲揚請願審査特別委員会
- 19日 議会改革検討会
議会運営委員会
- 19日～20日 全国市議会議長会基地協議会理事会
（東京都）
- 26日 会派代表者会
議会運営委員会
本会議場への国旗掲揚請願審査特別委員会

－12月－

- 3日～20日 12月定例会
- 13日 本会議場への国旗掲揚請願審査特別委員会
- 18日 本会議場への国旗掲揚請願審査特別委員会
- 20日 市議会だより編集委員会

- 鳥栖市議会への視察来庁（10月～12月）
- | | |
|--------------|------------|
| 大和市（神奈川県） | 福知山市（京都府） |
| 調布市（東京都） | 岡山市（岡山県） |
| 糸満市（沖縄県） | 山梨市（山梨県） |
| 柳井市（山口県） | 茅ヶ崎市（神奈川県） |
| 柏市（千葉県） | 北名古屋市（愛知県） |
| 相生市（兵庫県） | 横須賀市（神奈川県） |
| 敦賀市（福井県） | 島田市（静岡県） |
| 村上市（新潟県） | 呉市（広島県） |
| 南信州広域連合（長野県） | 川崎市（埼玉県） |
| 藤沢市（神奈川県） | 米沢市（山形県） |
| 浜松市（静岡県） | 豊橋市（愛知県） |
- 以上21市、1広域連合 [来庁者合計150名]

陳 情

- 高齢者施策を担うシルバー人材センターへの支援の要請
公益社団法人鳥栖市シルバー人材センター
理事長 下岸和智
- 地球社会建設決議に関する陳情書
荒木 實
- 要望書（鳥栖久留米道路関係）
水屋町区長 龍野幸俊
酒井東町区長 大塚勝利
- 要望書
鳥栖市公共建築の設計及び監理業務の入札にあたっては、大型物件に対しても参加の機会を設けて頂くように、お願い申し上げます。
社）佐賀県建築士事務所協会
鳥栖支部支部長 江島信行
- 平成25年度税制改正に関する提言について
社団法人鳥栖法人会
会長 中富博隆

今号から、本会議場での表決について、
議員個人の賛否を掲載します
.....
本会議や委員会は傍聴できます
詳しくは議会事務局
(電話 0942-85-3525) へ

編集後記

2012年はオリ
ンピックイヤーで、
夢・感動を与えてくれ
た▼鳥栖でもサガン
トス・吉松育美さん・
鳥栖工高駅伝と大変
良い年だった▼それに比べ政
治は、先の見えない、なさけな
い状況だ▼自民党がだめだか
ら民主党、そしてまた自民党、
総理大臣は7回連続1年任
期？▼その前の小泉総理は少
しもてたが、未だに残る競争
原理主義の規制緩和と派遣労
働者の増大と社会保険も厚生
年金もない中で働いている▼
我々政治家の責任は重い。
(内川隆則)